

## 中國文化大學 104 學年度碩士班考試入學招生考試試題

系所組：日本語文學系碩士班

節次：第 1 節

科目：日本語文(含中日互譯)

## 1. 次の文を中国語に翻訳せよ。(50%)

“文化摩擦”というのは簡単に言えば、「異なった文化背景を持った人々との接触・交流によって生じる摩擦」だと言える。大きくは東洋と西洋、キリスト教文化圏とイスラム文化圏というふうに地域間・宗教間の摩擦、さらには国家間の文化摩擦などがあるが、また、同じ国のなかでも例えば日本の関東と関西の文化摩擦、世代間の摩擦、究極的には個人と個人の間の文化摩擦なども考えられよう。

“文化”という言葉は周知のように英語の‘civilization’が“文明”と訳されたのと区別する形で、より心理的な意味合いをもつとされる‘culture’の訳語として日本に定着した。一般的に“文化”は美術、映画、音楽などの芸術や伝統的な祭り、または各種の行事や歴史的な遺産などとしてイメージされている。つまり、人々が長年にわたる地域社会での生活を通して築き上げた“伝統的な慣習”ないし“生活習慣”だということができる。もちろん、その地域の言語は言うまでもなく、物の考えや感じ方、表情、しぐさなど人間が後天的な学習によって獲得したものを言う。英米的な考え方としての文化は、「かなりの程度の普遍性、定着性、継続性をもった人々のライフスタイルと社会のありよう」ととらえられている。すなわち、文化は人間の日常生活の中で常に慣習的に身につけられた“衣食住”でもあり、“ものの見方”でもあり、“認識のしかた”でもあるのである。つまり、まわりの地域同士が認めるコンセンサスでもあろう。

【武市英雄・原寿雄 (2003) 『グローバル社会とメディア』より抜粋】

第1頁共1頁
--------

## 2. 請將下列中文翻成日文。(50%)

台灣茶藝自萌芽至興盛的三十多年之間，經由無數茶人、茶會、茶館的不斷鑽研、改進與傳習，早已將中國人文美學、佛教禪宗意境、日本茶道禮儀等全部融入，呈現百花齊放的多元繽紛風貌。

此外，近年隨著兒童茶藝的崛起，兩岸學習茶藝已有越來越年輕化的趨勢。不少台灣兒童受到父母愛喝茶的影響，紛紛參加兒童茶藝班從「茶的認識」學起，也有愈來愈多的國小成立兒童茶藝隊，許多大學也普遍設有茶藝社，可以說，「向下扎根」將是台灣茶藝遠景指日可待的最大希望。

向全球展現台灣活力創意與經濟實力的「2010 台北國際花卉博覽會」，除了花卉與現代科技競艷外，也充滿了濃濃茶香：例如美術公園區的「故事館」，不僅是台灣現存古蹟中唯一英國都鐸式建築，也是 1914 年擔任台北茶商公會會長的大稻埕茶商陳朝駿所建造。

【擷取自－吳德亮(2011)《台灣的茶園與茶館》】